

下山口白石地区まちづくり推進協議会準備会 平成 30 年（2018 年）年次総会開催結果のお知らせ

平成 30 年（2018 年）12 月 17 日

下山口白石地区まちづくり推進協議会準備会

代表 小林正典

ご案内の通り、標記総会を 12 月 16 日（日）午後 3 - 4 時に下山口会館 1 階集会室にて開催いたしました。以下、結果概要をお知らせ致します。

開会の挨拶

準備会の中村副代表より開会が宣言され、総会議長は代表の小林が務めることが提案され了承されました。小林からは、推進協議会に対する支持書は 269 通集まり、12 月 14 日（金）に役場から構想地区の過半数以上の支持が得られたことが認められるとの連絡を受けた旨報告しました。ただし、会則について役場との調整が完了せず、推進協議会の公式認定を報告することができず大変残念であることが報告しました。明年 2 月には公式認定が受けられるよう努めていきたいとお話ししました。

活動内容

配布の議題案および資料に従い活動内容について報告をしました。主な活動としては、構想区域居住者に加え、不在地権者への準備会の活動の周知を進め、81 名への不在地権者への郵送による活動の周知と支持書用紙の送付を行い、9 名の不在地権者より支持書の送付を受けたことなどを報告しました。

会計報告

島田会計担当役員および沼田監査担当役員に代わり、中村副代表が会計・監査報告を行いました。昨年度からの繰越金 3 万 233 円の収入に対し、切手代である通信費支出が 13,920 円で残高が 16,313 円である旨の会計報告がなされ、相違ないことが承認された旨報告がありました。

新役員

添付資料の通り、新役員が提案され、承認されました。

会則修正案

役場より総会の定足数に関する規定を設けるようにとの指示を受け、構想区域の 4 つの各々のゾーンに 2 名のゾーン長を設け、総会の定足数を役員およびゾーン長の総数の過半数（委任状提出者を含む）とする修正案を提示し、了承されました。また、ゾーン長の選任は役員が会員と協議し、選任した上で、追って会員に周知することで了承が得られました。

活動予定

今後の活動予定については、① 準備会の公式認定に向け、役場との協議を完了させる、② 新規地権者等への準備会の活動周知を行う、③ 構想区域でのまちづくりに役立つ情報共有等を進めることなどを小林より提案したところ、了解が得られました。また、地域内での開発や下水道工事の進め方などについて地域住民側と地権者、施行者、行政との間で見解の隔たりがあることや、電線地中化や公衆トイレの改修をはじめ構想区域に様々な課題があり、優先順位を付して、着実な成果があげられるよう期待する旨参加者から指摘がありました。

以上